



未来心

第37号

平成28年
5月13日

新年度を迎えるにあたって

病院長 宮本 勝也

平成28年度を迎えるにあたってご挨拶申し上げます。

昨年度は私が病院長に就任して1年目の年であり、非常に不安視しておりましたが、連携して頂いている先生方、患者さん、地域の方々、また、職員のおかげをもちまして、何とか無事に新たな年度を迎えることが出来ましたことを厚く御礼申し上げます。

当院にとって今年度の最も大きな変革は消化器センターの設立です。従来から得意としてきた消化器疾患に対する医療を集約化、効率化するために、内科・外科の枠組みを越えて一本化します。消化器疾患のなかでも臓器別、専門性に富んだ医療を展開したいと考えています。開業医の先生方からご紹介いただく場合は、従来通り、各医師個人宛てにご紹介いただいても何の問題もありませんが、専門性が不明な場合は、消化器センター宛てにご紹介いただければと思います。その場合は当方で最も病状に適した医師が診察させていただきます。また直接患者さんが当院を受診される場合は、十分な症状の問診を行い、適切な医師が担当させていただきます。開設は平成28年5月9日であり、センター長として元広島市民病院副院長、二宮基樹先生をお迎えします。

次ページへ続く



前ページから続く

二宮センター長は世界における胃がん手術のリーダーの一人であり、患者さんに今まで以上の高度な医療が提供出来るようになるとともに、当院全体の胃がん治療がレベルアップするものと確信しています。ハード面に関しては、現在改修計画を進めており、内視鏡室、外来化学療法室、売店の充実等を考えています。診療を継続しながらの工事になりますので、患者さんにはご迷惑をおかけしますがご容赦ください。全面完成には約2年間かかる予定です。

また、今回は管理職の人事もあります。外科の坂下吉弘先生が診療部長に就任されます。外科治療のみならず、卓越したリーダーシップを發揮して頂いて、今まで以上にチーム医療の充実に貢献して頂けるものと期待しています。事務部長は、前任の桐山和久氏は東北公済病院に異動となり、宮原栄氏が就任されます。宮原氏は、11年前に

吉島病院の事務職から連合会本部に栄転され、昨年度は病院部次長まで勤められた方です。強力なお二人が管理職となり非常に心強い限りです。

今年度の診療報酬改定は2025年超高齢者時代の到来に向けて、急性期病院を減少させる国の方針に基づき、非常に厳しいものとなっています。当院の様な7対1急性期病院は手術や救急といった、重症度、医療・看護必要度の高い患者さんの割合を高く保つ必要があります。急性期を過ぎても入院継続が必要な患者さんは、当院には地域包括ケア病棟がありますので、在宅復帰に向けて当該病棟へ転棟していただく場合もあろうかと思えます。急性期病棟と地域包括ケア病棟が一体となって、患者の皆さん各々のニーズにあった医療を展開していきたいと考えておりますので、今年度もよろしくお願い申し上げます。

消化器センター開設にあたり

国家公務員共済広島記念病院センター長 二宮 基樹

私は救急医療を目指して外科医を志したのですが、その後胃がん治療に心を奪われ、前任地の広島市民病院では約23年間にわたり胃がん診療一筋に邁進して参りました。そして、2015年3月には第87回日本胃がん学会総会を広島で開催する栄誉も与えられました。

その後も胃がん診療への情熱はいささかも衰えることはありませんでしたので、この度の任は私自身大変意気に感ずるものです。

患者さん中心の質の高い医療を推進するためにはセンター化は全国的な流れです。当院が得意とする消化器疾患診療を臓器別にする、内科と外科が合同で診療にあたる、この2点は消化器センター開設にあたり柱になる基本的事項と考えます。

「良性でも悪性でも消化器疾患で困ったら記念病院に」をモットーに、これまで以上に広島の消化器疾患診療の大きな核のひとつになりたいと願っています。ご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



診療部長就任のごあいさつ

診療部長 兼 外科医長、地域包括ケア病棟医長 坂下 吉弘

この度、平成28年4月1日付で診療部長に就任しました外科の坂下吉弘です。広島記念病院は、平成6年4月1日に外科医師(非常勤)に採用いただき、大学病院第一外科医局に帰局するまでの3年間、みっちり外科医としての行儀見習いをさせていただいた病院です。その後、大学病院、大田市立病院を経て、平成20年4月より11年ぶりに着任し現在に至ります。着任後、診療では消化器外科手術を中心に多くの患者様を診させていただいております。特に、胃がん、大腸がんは、腹腔鏡手術の技術向上や化学療法と組み合わせた集学的治療により、治療成績も飛躍的に向上しております。高齢者を治療する機会も多く、入院を機にADLが低下することもあり、細かな全身管理を行う必要もあります。これは、医師のみでは行うことができず、チーム医療が重要になってまいります。当院のチーム医療の中で、私は、褥瘡対策チーム、緩和ケアチーム、栄養サポートチーム(NST)などのチーム長として、主治医、診療科をまたいで病院全体の患者様にも関わらせていただいております。一人の患者様を中心に、多職種メンバーが集まり、細かいところまで行きとどいた医療が行えるよう、これからも頑張っていきたいと思っております。



当院のもう一つの役割として、地域包括ケアシステムの中で在宅後方支援を行うため、平成27年4月に地域包括ケア病棟を新設致しております(51床:特室1床、個室9床含む)。国および各自治体が進めている地域包括ケアシステムとは、高齢者の尊厳の保持と自立生活支援の目的の下で、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることが出来るよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制の構築を推進することです。当院の地域包括ケア病棟は、急性期医療から在宅療養を繋ぐ支援を担う病棟です。地域包括ケア病棟は、60日以内という一定期間の限度を持って、在宅復帰に向けた医療管理・診療・看護・リハビリテーション等を行い、退院後の生活不安を軽減・解消できるように支援を行います。また退院された後も、自宅や施設で安心して過ごせるように、かかりつけ医と連携し、身体や心の健康を守るサポートを行うため、入院中から医療機関・介護施設・ケアマネージャー等が、患者様の情報を共有することで、切れ目のない医療を提供することができます。



当院のこれから進んでいく方向ですが、消化器疾患特に消化器がんに関しては、手術のみならず、化学療法や緩和ケアなど集学的治療を提供できるように、これまで同様、急性期医療を行いつつ、回復期、在宅復帰支援もできる患者様に優しい医療を提供することです。この中で、地域の先生方とも連携を更に深めて、患者、家族が安心して療養できる病院を目指して努力していきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いたします。

新入職員宿泊研修

研修担当者 中央検査科 永田 拓生

平成28年3月12日から14日の3日間、新入職員を対象とした宿泊研修が行われました。この研修は、昭和56年より行われている広島記念病院独自の研修です。今年度は、看護師19名、薬剤師1名、診療放射線技師1名、臨床検査技師1名、理学療法士1名、社会福祉士3名の新入職員が参加しました。



この研修の目的は、

1. 人と人のかかわりを通して自己を見つめ仲間づくりの土台とする。
2. 専門職能を高めるために相互の啓発に役立つグループ作りをする。
3. コミュニケーションマナーを身に付ける。

です。

一日目は川岡先生による「社会人としての心構え(マナーの基本5原則)」を聴講後、国民宿舎湯来ロッジに場所を移し、グループワークを行いました。最初は緊張した面持ちの研修生でしたが「名刺交換」による自己紹介を行った後には、お互いがコミュニケーションを図りとてもよい雰囲気グループワークに取り組みました。二日目は迫田さんの案内の元、石ヶ谷峡にトレッキングに行きました。3月とはいえ、まだまだ肌寒い中でのトレッキングとなりましたが、梅の花が咲き、木の蕾が膨らんでいる様子が見られ、少しずつ春の訪れを感じることができました。今回の研修では夕食のバーベキューの後で、新たなグループワークとしてスタンツ(グループによる即興劇)の発表を行いました。短い時間での準備となりましたが、各グループ、チームワークを発揮し寸劇をやり遂げました。最終日は3日間のまとめです。KKR広島に場所を移し、今回の研修で得たものや学んだこと、感じたことをまとめ、閉講式後の交歓会にて発表しました。また、交歓会では新入職員が配属される各部署の代表者が職場紹介を行いました。

この研修を通して、広島記念病院に入職した同期として、すばらしい仲間ができたと思います。仕事をしていく上では、やりがいを感じることもありますが、苦しいことや辛いこともあります。そういう時には、同期に相談したり、頼ることで乗り越えてもらえたらと思います。新入職員のみなさん、私たちと共に、広島記念病院を盛り上げていきましょう。



ニューイヤーコンサート

会計課 船本美貴恵

1月16日(土) 13:30より、当院1階ロビーにて、沖田ご夫妻によるニューイヤーコンサートを開催しました。演奏は、ヴィオラ 沖田孝司さん、ピアノ 沖田千春さんです。

入院患者さん、記念寿の入所者の方など、たくさんの方に参加いただきました。

沖田さんの軽快なトークと美しいヴィオラとピアノの演奏に、心が洗われる思いでした。

歌詞のクイズや、民謡を一緒に歌ったりなど、参加型のコンサートで、患者さんも歌を口ずさまれたり、オカリナを吹かれる方とのセッションもあり、とても癒される楽しい時間を過ごすことができました。興味をもたれた方は、ぜひ来年、ご参加ください。

【曲目】アメージンググレイス、あなたに逢えてよかった(沖田孝司さん作詞・作曲)、春の海、さくらさくら、浜辺の歌、三の次と書いて三次と読みます(沖田孝司さん作詞・作曲)、それ行けカーブ、雪、七つの子、ローズ、川の流れのように、見上げてごらん夜の星を(アンコール)



MCIスクリーニング検査

認知症のリスクを調べることができる血液検査を導入いたしました。
その検査は、『MCIスクリーニング検査』です。

●MCIスクリーニング検査とは？

MCIスクリーニング検査は、アルツハイマー病の前段階である軽度認知障害(MCI)の兆候を早期に見ることができる血液検査です。

アルツハイマー病は、アミロイドβペプチドという老廃物が脳に蓄積し、神経細胞を破壊することで発症します。この検査は、アミロイドβペプチドを排除する機能を持つ3つのタンパク質(アポリポタンパク質、補体タンパク質、トランスサイレチン)の血中量を調べることで、アルツハイマー病の原因物質であるアミロイドβペプチドの蓄積量を間接的に評価し、軽度認知障害(MCI)のリスクを判定するものです。

●注意事項

※本検査は食事の影響はありませんので食後でも可能です。

※本検査は、軽度認知障害(MCI)のリスクを統計学的に調べるスクリーニング検査です。検査の判定結果で診断が確定するものではありません。

※本検査の血液中のタンパク質量は栄養状態が悪い場合や自己免疫疾患など炎症性疾患において変化することがあります。

※認知症の最大のリスクは「加齢」です。30～40歳代の検査結果については年齢を考慮した評価が必要です。

※結果は採血後3週間程度かかります。(年末年始、GW等の長期休暇時は4週間かかります)

●お問い合わせは、地域連携室【病院代表番号：TEL(082)-292-1271】にご連絡ください。

地域医療従事者研修会報告

日 時：平成 28 年 1 月 21 日（木） 18：30～19：30

テーマ：「動きの支援から見た褥瘡対策」

講 師：澤井 尚子 先生（ET ナース フェルデンクライスプラクティショナー）

参加数：53 名

今回の地域医療従事者研修会は、褥瘡予防や治療を行っていく上で欠かすことのできないポジショニングの考え方の一つとして、“動きの支援”に焦点をあてケアすることの重要性についてご講演頂きました。「動きの生涯学習会」の代表であり、フェルデンクライスプラクティショナーの資格を活かされ、多くの病院や地域で実践されている内容を聴き、実際の方法を目の前で見ることによって、多くのことを感じる事ができたと考えます。動きを通してその方の能力を引き出し日常の活動に生かすために、骨格や動き、体の支持面などを知りサポートして姿勢を整えていくことの大切さを学びました。



日 時：平成 28 年 2 月 25 日（木） 18：30～19：30

テーマ：「発熱を契機に発見された高齢者胃腫瘍の一例」

担当医：内科医師 林 晴奈 病理担当医：広島大学 服部 拓也 先生

司 会：副院長 隅井 雅晴

参加数：21 名

「発熱を契機に発見された高齢者胃腫瘍の一例」について、CPC 検討会を行ないました。

日 時：平成 28 年 3 月 24 日（木） 18：30～19：30

テーマ：「魔法でもトリセツでもないクリニカルパスの現状と未来」

講 師：中電病院 内科部長 石橋 克彦 先生

参加数：46 名

魔法でもトリセツでもないクリニカルパスの現状と未来をテーマに中電病院 内科部長の石橋克彦先生にお話して頂きました。

はじめに、クリニカルパスの基本のおさらい、次に、パスの有用性についてお話がありました。最後に、パスの未来についてお話がありました。パスの未来像について、①空気のようにそこにある、②コスト意識は少し持つ、③医療の質を担保するツール、④適応率には気を付けたい、とお話されました。

また、若い人へのパス教育をどうしているかという質問について、中電病院では、新人看護師にパスの講義をしているとお話されました。若いスタッフへのパス教育に困っている施設は他にもあり、当院だけの悩みではないことがわかりました。



広島記念病院 第18回 公開講座

日 時：平成 28 年 3 月 29 日 (火) 13:30 ~ 14:30

テーマ：「胃がんの外科治療」

講 師：広島記念病院 外科医長 坂下 吉弘

参加数：86 名

日本人の死因第一位を示したこともある胃がんは、広島記念病院が得意とする代表的な消化器がんのひとつです。今回は、胃がんの手術方法、手術後の化学療法など、日常生活の注意点などを当院外科医長の坂下吉弘医師が講義を行いました。

胃がんは、塩分の摂りすぎや野菜・果物の不足など日常的に摂取する食事や喫煙、ヘリコバクター・ピロリ菌の感染などによって起こる粘膜の炎症が慢性萎縮性胃炎や腸上皮化生（胃粘膜が腸粘膜と同じような機能を持つ細胞に置き換わること）を引き起こし、やがて粘膜内の細胞ががん化することで発生すると考えられています。

2014年がんの統計の部位別がん罹患数では男女計でも胃癌が多く、部位別がん死亡数では肺に次いで胃癌が多い状況で、今後も死亡数・罹患数予測でも胃癌は上位となっております。

講義では、続いて胃がんの検査から診断までの流れについて説明しました。まず内視鏡的切除（EMR・ESD）の適応について説明があり、胃手術の種類については腹腔鏡下胃切除術や開腹手術を実際の手術映像を流しながら丁寧に説明されました。また、術後補助化学療法では、TS-1を内服した人としない人では生存率が10%違い、補助化学療法を行なうことが延命につながるデータもあるとの説明もありました。

胃癌の予防法については、塩蔵品(塩漬けの魚や肉・漬け物など)、魚や肉の焦げ、熱いものを避けるなど、習慣的に続けて食べないようにすることが予防につながることもお話されました。講義終了後は、たくさんの質問を頂き、一つ一つ丁寧に答えて頂きました。



広島記念病院「理念」及び「憲章」

理 念

患者の皆様が、安心して受診できる、やすらぎの環境及び満足と信頼が得られる最良の医療サービスを提供する。

憲 章

1. 私達は、「癒しの心」を医療の心として職務に専念します。
2. 私達は、患者様の人権と意思を最大限に尊重し、納得と同意に基づいた全人的医療を目指します。
3. 私達は、日々自己研鑽に励み、良質で温もりのある、地域に密着した医療を心がけます。
4. 私達は、地域医療体系に参加し各々の持てる機能の連携により、より合理的で効率的な良質の医療に努めます。

地域医療連携室

TEL 082 (503) 0730

FAX 082 (503) 1010

代表 広島記念病院

TEL 082 (292) 1271

FAX 082 (292) 8175

庶務課

TEL 082 (503) 1001

内科・外科

FAX 082 (503) 0722

産婦人科・小児科

FAX 082 (503) 0723

耳鼻科・皮膚科・泌尿器科

FAX 082 (503) 0731

4 病棟

FAX 082 (503) 1014

5 病棟

FAX 082 (503) 1015

6 病棟

FAX 082 (503) 1016

7 病棟

FAX 082 (503) 1017

8 病棟

FAX 082 (503) 1018

外来診療担当表

平成 28 年 5 月 9 日現在
平成28年5月9日より、下記のとおり診療いたします。

診療科	受付時間	区 分	月	火	水	木	金	土
内 科	8:30~11:00	一 診	隅 井	山 本	隅 井	隅 井	城 戸	当番医
		二 診	江 口	田 村	城 戸	江 口	田 村	
		三 診	木 村	阿座上	木 村	阿座上	山 本	
		四 診	山 田					
総合診療科	8:30~11:00		横 崎	菊 地			休 診	
外 科	8:30~11:00	一 診	宮 本	横 山	坂 下	宮 本	坂 下	当番医
		二 診	橋 本	小 林	橋 本	横 山	小 林	
		三 診	角 舎	二 宮		二 宮		
産婦人科	8:30~11:00	一 診	宮 本	小 林	坂 下	宮 本	坂 下	休 診
	13:00~14:30	一 診	横 田	横 田	横 田	横 田	横 田	
小 児 科	8:30~11:00	一般診療	岸	岸	岸	岸	岸	
	13:00~13:30	健診・予防接種	岸	岸	岸	岸	岸	
	13:00~13:30	予防接種	藤井(裕)					
	14:30~16:00	一般診療	岸	藤井(裕)		岸	岸	
耳鼻咽喉科	8:30~11:00	一 診	長 田		長 田		関	
皮膚科	8:30~11:00		松 尾				入 福	
泌尿器科	8:30~11:00			井 上		神 明	林	
眼 科	8:30~11:00	一 診	金 本	金 本	金 本	金 本	定 秀	
		二 診		藤 東		藤 東		
広島記念診療所 歯 科	8:30~11:00		山 田	山 田	山 田	山 田	山 田	電話番号 294-7858
	13:00~16:00		山 田	山 田	山 田	山 田	山 田	
ストーマ外来 (皮膚・排泄ケア 認定看護師)	8:30~11:00			森 本			森 本	
	13:00~14:30				森 本	森 本		

土曜日は内科一診、外科一診のみ診療しております。

* 歯科を除く各診療科の再診受付は7:30よりおこなっております。

部分は女性医師です。

広島記念病院案内図



交通のご案内

JR 広島駅より市内電車宮島行き・己斐行・江波行にて、
本川町電停下車、南へ100メートル徒歩1分
広島バス商工センター行き・祇園大橋行きにて
本川町電停下車、南へ100メートル徒歩1分
広島駅前よりタクシーで約10分

駐車場

立体駐車場 72 台、平面駐車場 10 台

身障者専用駐車場 3 台

詳細は病院ホームページをご覧ください